

No.12 キャリア教育全体計画例(5) (西条農業高等学校)

生徒実態 ・生活信条としての時間厳守、挨拶励行、整理整頓について、その意義を理解し、確実な実行に向けて努力している。 ・クラブ活動の加入率が高く、学校行事等にも積極的・協力的に参加するなど、学校生活を充実させることについて意欲的に取組んでいる。 ・専門性を活かした進路を実現するための準備を計画的に進めていくという面に課題がある。	校訓 創造・実践・育命		法的体系・参考資料 ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・平成19年度広島県教育資料 ・指導資料 ・実践資料 等	
	学校経営理念 ・基礎・基本を重視した普通教育と先進的な専門教育の充実。 ・確かな学力と時代にあった勤労観、職業観の育成。 ・将来のスペシャリストとしての基礎・基本の確実な定着と豊かな人間性の養成。 ・各種学校、研究機関、地域社会等との連携による、魅力あふれる教育内容の創造。 ・地域に開かれた信頼される学校づくり。			
「西農三訓」(生活信条) 挨拶励行・整理整頓・時間厳守		中期経営目標 ・企画会議を中心とした組織的・機能的な学校運営体制の確立。 ・基礎・基本の定着と多様な進路希望に対応したきめ細かな進路指導。 ・基本的な生活習慣の確立と積極的な生徒会活動・部活動の指導。 ・先進的な専門教育の充実。		
めざす生徒像 ・確かな目標 確かな学力と時代にあった勤労観、職業観を有し、将来の職業を含む自己目標を自覚している生徒。 ・主体的な学び 主体的な個性を尊重し、生涯にわたる学び方を習得し、学ぶ意欲をもつ生徒。 ・豊かな人間性 「動植物」、「人」、「もの」に関わることで、豊かな人間性を持ち、産業社会、国際社会に貢献できる生徒。 ・たくましい人間力 自己や集団生活のあり方を理解し、自主的、自律的な態度と社会性を持ち、たくましく生きる力を有する生徒。		キャリア教育指導目標 〔東広島市地域〕 「食・生命」を基盤とした、小・中・高等学校の発達段階に応じた組織的・系統的な職業観・勤労観の育成 〔西条農業高等学校〕 ・持っている能力を伸ばし、それを活かすことであらゆる成長し、自立した生き方ができるようになる。 ・はっきりとした将来の目標を持ち、その上でしっかりと計画を立てて、進路実現のための勉強や準備に対して自主的に取り組むことができる。 ・働くことを通して社会のために役立っていこうと考えることができる。 ・悩みごとを一人で抱え込まず、相談などの適切なコミュニケーションをとることができます。		
西条農業高等学校 進路指導目標 確かな学力を身につけ、専門性を活かした多様な進路希望に対応できるきめ細かな進路指導を行い、自己の描くライフプランに基づいた自己実現をめざす。 平成19年度 重点目標 (1) 基礎学力の充実を図る。 (2) 特徴ある魅力的な課題研究の推進を通して、専門教育の内容の充実を図る。 (3) 大学・企業等との連携を積極的に行い、多様な進路希望に対応した進路実現を図る。 (4) 計画的、継続的な学力充実体制の整備を進め、補習・模擬試験を計画的に実施する。 (5) 受験情報等の資料収集に努め、面接指導、小論文指導を充実させる。				
1学年／指導の重点 指導目標 ・希望進路の選択 高校生活への適応を図り、将来展望に立った自己の興味・関心・性格の特徴の把握から適性を考え、自己理解を図る。	2学年／指導の重点 指導目標 ・希望進路の決定 自己実現を図るために勤労観・職業観を育成し、大学・企業研究を進め、自己を生かす進路実現のためのプロセスを明確にする。	3学年／指導の重点 指導目標 ・希望進路の実現 具体的な進路先（大学名・学科名・企業名）の検討・点検を行い、就職・進学試験に対応できる学力をつけ、希望進路を実現する。		
【主な指導内容】 ○ 高校の学習と将来のあり方生き方 「ライフプランの設計」 ○ 学部・学科、職業を知り、自己の進路を考察 ○ 進路別学習を通じて進路観の探求 ○ 希望進路の実現に向けて 「コース選択」 ○ 学習成果発表「意見発表」 ○ 模擬試験（事前・事後指導）	【主な指導内容】 ○ 希望進路の実現に向けて 「学部・学科研究」「企業研究」 ○ 体験研修旅行 「大学・企業訪問」 ○ インターンシップ・オープンキャンパス ○ 進路ノート作成及び進路面接実施 ○ 進路希望別学習（外部講師招聘） ○ 小論文指導 ○ 学習成果発表「意見発表」 ○ 模擬試験（事前・事後指導）	【主な指導内容】 ○ 進路別ガイダンス ○ 進路ノート作成及び進路面接実施 ○ 小論文指導 ○ 進路相談 ○ 受験指導・対策 ○ 進路希望別学習（外部講師招聘） ○ 补習（放課後・長期休暇中） ○ 学習成果発表「課題研究」 ○ 模擬試験（事前・事後指導） ○ 進路決定後の報告書作成と進学・就職準備		
各領域におけるキャリア教育指導内容 教科 学科（農業） 特別活動 その他の教育活動 ・学校外の学修制度等を通じて、専門的な学問内容に触れることで、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養う。 ・就業体験等の体験的な学習や調査研究を行つ。 ・社会・職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観を育成する。 ・自己の将来の生き方や進路についての考察と計画作成。 ・進路選択への意識や社会性を伸ばす。 ・自ら学ぶ意欲を持ち、主体的に専門的な知識や技術の習得を目指す。 ・作物、家畜等の管理を通して、計画性や責任感を身につける。 ・相手の立場に立ってものごとを考える客觀性や総合的な判断力を養う。 ・専門に関する先進の技術や諸課題に目を向け、将来の展望について考える。 ・学校で学ぶ専門的な内容と社会生活、職業生活とを関連づける。	学級活動 ・学校生活の充実と向上をめざして自主的に活動する。 ・学級の一員として役割を分担することで協調性や責任感を養う。 ・話し合いを通して自主的に諸問題を解決する力を養う。	学校行事 ・基本的生活習慣やコミュニケーションの構築など、日常生活を営むために必要な行動の仕方を身につける。 ・学校行事の企画、運営、自主的な活動を通じて、協力や奉仕の精神を培い、より良く生きるために力を身につける。	生徒会活動 ・生徒会行事の運営を通じて、協力や奉仕の精神を培い、より良く生きることを学ぶ。 ・学校生活が集団でのルールの上に成り立つことを学び、集団の構成員として自分の位置を自覚したうえで行動できる社会性を身につける。	・系統的、段階的な学習プログラムの開発、実践をするための授業や行事等、さまざまな教育活動における小、中との連携 ・部活動において、心身を鍛え、自律・自己・協調・奉仕の精神や態度を醸成し、有意義な活動のためのコミュニケーションを構築する。
キャリア教育に係るこれまでの実績 キャリア教育実践のための基盤 小・中学校との連携 ・農産物の生産活動や職業体験、国際交流センターとの連携、地域の清掃活動、幼稚園児たちと遊びの交流など、キャリア教育に結びつくさまざまな取組み。	関係機関・団体・企業との連携 ・平成17年度からの継続的な異年齢交流体験活動の実施。 ・「一日体験入学」等、中学生が専門高校の学習内容に触れることができる機会の設定。	地域の特徴 ・企業へのインターンシップ、広島大学との共同研究、学校外の学修、大学の教授による出張授業等の実施。		